

塩素酸塩粒剤 クロレート S	取扱メーカー： 協友アグリ、丸善薬品 原体メーカー： エス・ディー・エス
成分： 塩素酸ナトリウム……………50.0%	性状： 類白色1190 μ m以上の粒状 毒性： 劇物 消防法： —

【品目特性】……………

- 非選択性、接触型除草剤で、その強い酸化作用により植物を枯殺する。
- 一年生雑草から多年生雑草まで広範囲の雑草に枯殺効果を示す。
- 土壌中の移動性は大で、雨水によって土中深く浸透する。
- 本剤自身の可燃性はないが、その酸化作用により可燃物の燃焼を著しく助長する。そのため、本剤には難燃加工がしてある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 散布適期は対象雑草木が萌芽し、新葉が展葉をはじめた時期であり、生育の進んだ雑草木には効果が劣るので、時期を失ないように散布する。雑草かん木、一年生及び多年生雑草は草丈50cm以下が散布適期である。ススキは草丈20cm以下が株処理適期である。ススキを抑制、枯殺するには株元やその周辺にスポット散布する。
- 地ごしらえの場合は、手まき、手動又は風速の大きい動力散布機で地ごしらえ地全面にまき残しないように散布する。
- 下刈りの場合は、風速を小さくした動力散布機で茎葉又は土壌表面に均一に散布する。
- 空中散布で使用する場合、ヘリコプター用微粒剤散布装置によって散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 降雨時又は降雨の予想される場合、積雪時及び土壌凍結時は使用をさける。
- 下刈りの場合、降雨時又は降雨後など、植栽木の茎葉が濡れている時の散布は薬害を生じるおそ

れがあるので、植栽木をさけて散布する。

- 開こん地、林地の地ごしらえ又は休耕田に使用した場合、散布後3カ月以内は樹木、作物の植付、は種などはしない。
- 下刈りに使用する場合、植付当年の使用はしない。
- 竹類の節間投入処理の場合は、ドリル等で穴をあけ、ろうと等を用いて粒剤のまま投入し、投入後は穴をコルク栓等で塞ぐ。
- 水稻刈取り跡に使用する場合には次のことに注意する。

- 一年生雑草防除及び多年生イネ科雑草防除に使用する場合、水稻刈取り後、秋期雑草生育期に使用する。
- オモダカに使用する場合は、水稻刈取後なるべく早く使用する。
- 排水良好な一毛作水田で使用し、散布前に落水し、全面に均一散布する。

●植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木などの植栽地に流入又は飛散するおそれのある場所等では使用しない。また、樹木など有用植物の根が分布していると思われるところでは使用をさける。

●適用外作物（植木、農作物、有用植物など）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 従来品に比べ難燃性に製剤してあるが、散布前後には散布機をよく清掃して油や汚れを拭き取る。
- 散布時本剤が身体や作業衣に付着の少ないよう風向などに注意し、散布したところを歩かない。
- 本剤の浸み込んだ作業衣は、火気に対して燃えにくくなっているが、作業後水洗いする。
- 水源池、飲料水などに本剤が飛散・流入しないよう十分注意する。

●リン、イオウ、アンモニア塩類及びアンモニア性肥料、ガソリン・灯油等の油類、強酸性物質、木・繊維類のような可燃物との混合は危険なので、同一保管をさける。

●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。

●本剤は家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので、保管に注意し、また散布直後の散布地域への家畜の放飼は行わない。

●火気をさけ、直射日光の当たらない鍵のかかる

低温で乾燥した場所に密封して保管する。使用残りの薬剤は、必ず鍵のかかる安全な場所に保管する。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

●空中散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	使用目的 適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農 薬の総使用回数	
開墾後に 栽培する 農作物等	開墾地	一年生及び 多年生雑草 雑かん木	雑草生育期	15～25 kg	—	全面均一散布	—	
ま つ からまつ えぞまつ とどまつ	地ごしらえ				2 回以内	空中散布		
	下刈り			10～20 kg		全面均一散布		
					空中散布			
	地ごしらえ 又は下刈り	ススキ		30g/ 株径20cm 60g/ 株径30cm 85g/ 株径40cm	1 回	株処理	3 回以内	
ぶ な か ん ば	地ごしらえ	一年生及び 多年生雑草 雑かん木		15～25 kg	2 回以内	全面均一散布		
	下刈り			10～20 kg		空中散布		
す ぎ ひ の き						地ごしらえ	15～25 kg	全面均一散布
	下刈り			10～20 kg				空中散布
		地ごしらえ 又は下刈り			ススキ	30g/ 株径20cm 60g/ 株径30cm 85g/ 株径40cm	1 回	株処理
	林地 放置竹林			竹類		竹類生育期		45～60 kg
樹 木 等	公園、堤と う、駐車場、 道路、運動 場、宅地、 のり面等	一年生及び 多年生雑草		雑草生育 初期～中期	15～25 kg	3 回以内	植栽地を除く樹 木等の周辺地に 雑草茎葉散布	3 回以内 (全面土壌散 布は1回以内、 但し当該処理 をする場合に は雑草茎葉散 布は1回以内)
		ササ類		雑草生育期	45～60 kg	1 回	植栽地を除く樹 木等の周辺地に 全面土壌散布	
		竹類		竹類生育期				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農 薬の総使用回数
水 稲 (水稲刈取跡)	水稲刈取跡	一年生雑草及び 多年生イネ科雑草	水稲刈取後 (秋期雑草 生育期)	20～25 kg	—	水稲刈取跡 に全面土壌 散布	—
		オモダカ		30～40 kg			
水 稲 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	水稲刈取後	20～40 kg		全面土壌 散布	
水田作物、 畑作物 (休耕田)	休耕田	一年生及び 多年生雑草	雑草生育期	30～60 kg			

作物名	適用場所	適用 雑草木名	使用時期	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農 薬の総使用回数
樹木類	林地 放置竹林	竹類	竹類生育期	10～20g/ 本	—	節間に穴を開け そのまま投入	—